

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	京都産業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウトサンギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F126310107500
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	京都府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	メディア・コミュニケーション・インターンシップ
	学部・研究科等名	外国語学部
	担当教職員名・役職	田畑 恒平 教授(外国語学部)
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	13
	受入企業等数	2
	受入企業等名	JCOM株式会社 J:COMプロダクション NPO法人クリエイター育成協会
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
キャリア形成支援活動の分類	7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動	
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	WEBサイト制作を中心に行う企業団体では、CMSを使ったサイト構築のみならず、そこに必要なコンテンツ提案やその作成業務などを行っている。 また、CATV局では本放送内で流れる1コーナーのコンテンツを企画製作している。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年 大学 学部4年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	事前学習内において、学生一人一人が社会人基礎力を基にしたアンケート項目で強み、弱み、成長させたい分野を明らかにし、受け入れ企業側の担当者に伝える。 企業担当者が、それらのアンケート項目に照らしてインターンシップでの取り組みのプロセスや成果を評価しつつ、学生の自己成長度合いを評価できるようにしている。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	インターンシップ先で取り組む課題について、取り組み計画を発表できるように準備をしている
	3-2-2.該当する事後学習の内容	3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	教員作成の教材・マニュアルを用いて、インターンシップでの取り組み方について講義を行っている。また、インターンシップでの到達度を確認するために事前段階で、自己評価シートを作成し、インターンシップで伸ばしたいポイントを明確にしている
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	事前段階で作成した自己評価シートを基に、インターンシップで伸ばしたかったポイントが成長できたのか。そのほかの項目は伸ばすことができたのかをスコア化する。さらにインターンシップ先企業の担当者からの評価、一緒にインターンシップを行った学生同士の評価も加え360度視点での評価を加えている
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	ロケ収録などの作業時に安全確認のために同行するようにしている
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前段階で作成した自己評価シートを基に、インターンシップで伸ばしたかったポイントが成長できたのか。そのほかの項目は伸ばすことができたのかをスコア化
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	事前、事後学習:各1日、就業実習:会議、ロケ、編集、チェック、OA等で、実質的に72時間以上は活動を行っている。
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	2023年度の場合 事前、事後学習:各1日 就業実習:会議1.5日、ロケ3日、編集5日、チェック3日、OA1日

項目	確認事項	届出内容
<b>要素⑥</b>	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1. はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	1. 企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 3. 企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4. 受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 5. 企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2. 「7. その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3. 上記回答内容に関する詳細	担当教員と企業担当者との事前MTGによって、当該年度の取り組み内容を決定している。さらに過年度作成した評価シートの内容を検討改良し、企業担当者と共有することで、学生自身の到達目標、課題感を共有するようにしている
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus/html/2023/3276.html">https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus/html/2023/3276.html</a>
<b>問い合わせ先</b>	大学等名	京都産業大学
	担当部署名	外国語学部
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	075-705-1461
	メールアドレス	<a href="mailto:gaikokugo-jim@star.kyoto-su.ac.jp">gaikokugo-jim@star.kyoto-su.ac.jp</a>